

## 令和 8 年度入学試験問題

### 受験上の注意

1. 監督の指示により、解答用紙に受験番号（算用数字）、氏名、フリガナ、解答する科目を記入し、受験番号、該当する試験日、解答する科目をマークしてください。記入については解答用紙の注意事項に従ってください。
2. 問題冊子と解答用紙の解答番号を間違えないように注意してください。
3. 各科目のページは、次のとおりです。試験開始の合図があったら、まず受験する科目のページ数を確認してください。

| 科 目   | ペ ー ジ |
|-------|-------|
| 日 本 史 | 2～19  |
| 世 界 史 | 20～39 |
| 地 理   | 42～66 |
| 公 民   | 68～81 |

4. 試験時間中は、受験票を机上の受験番号の下に呈示しておいてください。
5. 質問、その他用件があるときは、手を挙げて合図してください。
6. 試験時間中の退室は認めません。
7. 試験時間は60分です。
8. この問題冊子は持ち帰ってください。

**開始の合図があるまで開かないでください**

# 日本史

〔 I 〕 次の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答番号は  ～

年の <sub>b</sub> 大宝律令制定に大きな役割を果たした藤原不比等は、娘の宮子を文武天皇に嫁がせ、2人の間に生まれた子（のちの  天皇）も、やはり娘の光明子を嫁がせ、藤原氏は天皇家と深い関係を築いた。

その後、藤原不比等が亡くなると、皇族の長屋王が右大臣となり、政権を掌握して、<sub>d</sub> 独自の政策を展開した。その政治状況に危機を感じた藤原不比等の子息の <sub>e</sub> 4兄弟は、729年に、長屋王とその妻である吉備内親王を、策謀によって自殺に追い込み、光明子を皇后に立てることに成功した。

しかし、4兄弟は、737年に流行した天然痘で相次いで亡くなり、藤原氏による政権奪還は短期間で終わった。

新たに政権を握ったのは皇族出身の  であった。彼の政権のもとでは、唐から帰国した、吉備真備と  が  天皇の信頼を得て活躍した。

ところが、吉備真備と  の排除を求めて、740年に  が九州で反乱を起こし、鎮圧された。乱勃発後数年間に、 天皇は、平城京から  ・難波宮・紫香楽宮へと転々と遷都を繰り返した。

その頃は、政情が不安定で、飢饉や疫病が頻繁に起こり、 天皇は  のもつ鎮護国家の思想によって国家の安定をはかろうとした。

問1 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 646      ② 670      ③ 689      ④ 701      ⑤ 718

問2 文章の下線部bに「大宝律令」とあるが、その説明として適切ではないものを、

次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 唐の永徽<sup>えいき</sup>律令を手本にしたものである。
- ② 藤原仲麻呂によって施行された。
- ③ 律は唐律をほぼ写したものである。
- ④ 令は、日本の実情に合うように、大幅に改変されている。
- ⑤ 中央の氏や地方の国造<sup>こくぞうせい</sup>制の影響がみられる。

問3 文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 元明      ② 元正      ③ 聖武      ④ 光仁      ⑤ 淳和

問4 文章の下線部dに「独自の政策を展開した」とあるが、長屋王の政策として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 百万町歩の開墾計画                      ② 墾田永年私財法
- ③ 徳政相論の裁定                              ④ 勘解由使の設置
- ⑤ 荘園整理令

問5 文章の下線部eに「4兄弟」とあるが、4兄弟として適切ではない人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 武智麻呂                      ② 房前                      ③ 宇合
- ④ 麻呂                              ⑤ 冬嗣

問6 文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 石上宅嗣                      ② 阿倍仲麻呂                      ③ 藤原百川
- ④ 橘諸兄                              ⑤ 大津皇子



〔Ⅱ〕 次のア・イの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答番号は

11 ～ 20

ア 禅宗は、12世紀末頃、宋に渡った<sup>a</sup> 栄西によって日本に伝えられ、公家や幕府の有力者から広く信仰され、のちに栄西は臨済宗の開祖と仰がれた。鎌倉幕府は臨済宗を保護し、南宋から来日した<sup>b</sup> 蘭溪道隆ら多くの禅僧を招き、禅宗寺院がつぎつぎと建立された。禅宗様（唐様）の代表的な建築の一つとしては、がある。

臨済宗は室町幕府によっても厚く保護された。足利尊氏・直義兄弟はを招き、後醍醐天皇の冥福を祈って天龍寺を開いた。足利義満の時代には、南宋の官寺の制にならった京都・鎌倉の五山・十刹の制も整えられ、<sup>e</sup>この五山の禅寺を中心に、禅僧たちによって中国文化の影響を強く受けた文化が生み出された。

一方で、こうした幕府の保護や統制を受けた五山派には属せず、より自由な民間布教につとめた禅宗諸派もあった。それらは林下とよばれ、臨済宗の寺院では、一休宗純が住持となったなどがある。

問1 アの文章の下線部 a に「栄西」とあるが、栄西の著書として最も適切なものを、

次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 『教行信証』                      ② 『選択本願念仏集』              ③ 『興禅護国論』  
④ 『正法眼蔵』                      ⑤ 『歎異抄（鈔）』

問2 アの文章の下線部 b に「蘭溪道隆」とあるが、蘭溪道隆を招いた最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 北条時宗                      ② 北条泰時                      ③ 北条時頼  
④ 北条貞時                      ⑤ 北条義時

問3 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 円覚寺舍利殿                      ② 東大寺南大門                      ③ 中尊寺金色堂  
④ 平等院鳳凰堂                      ⑤ 室生寺金堂

問4 アの文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 無学祖元                      ② 夢窓疎石                      ③ 桂庵玄樹  
④ 虎関師錬                      ⑤ 絶海中津

問5 アの文章の下線部 e に「この五山の禅寺を中心に、禅僧たちによって中国文化の影響を強く受けた文化が生み出された」とあるが、禅僧の活躍や、禅の影響を受けた文化に関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 鹿苑寺金閣は、伝統的な寝殿造風と禅宗寺院の禅宗様を折衷した3層の楼閣建築である。  
② 禅僧のなかには、外交文書の作成や外交使節、さらに幕府の政治顧問として重用される者もいた。  
③ 漢詩文の創作が盛んにおこなわれ、五山文学が発展した。  
④ 禅の精神にもとづく簡素さを追求した『節用集』が刊行された。  
⑤ 「瓢鮎図」は、禅の公案を図示した水墨画である。

問6 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 東福寺                      ② 相国寺                      ③ 南禅寺  
④ 建仁寺                      ⑤ 大徳寺

イ 社会の移り変わりの激しさは人々の歴史意識を高め、時代の転換期にあたっては、過去の歴史を振り返ろうとする動きがみられる。

平安時代前期に最後の六国史である『日本三代実録』が成立して以降、正史（歴史書）の編纂はおこなわれなかったが、平安時代後期には、『栄花（華）物語』など、歴史に素材を取った仮名書きの歴史物語が著されるようになった。

鎌倉時代になると、慈円が歴史書『』を著した。慈円は、武家政治の出現を肯定し、衰退していく貴族の歴史を「道理」によって解釈しようとした。また鎌倉時代後期には、鎌倉幕府の正史である『』が編纂された。

南北朝時代には、源平争乱以後の歴史を公家の立場から記した歴史物語の『』や、皇位継承の経緯について述べ、大義名分論にもとづいて南朝の正統性を訴えたの歴史書『神皇正統記』が書かれた。

#### 【語群】

|        |        |       |        |
|--------|--------|-------|--------|
| ① 増鏡   | ② 大鏡   | ③ 今鏡  | ④ 吾妻鏡  |
| ⑤ 元亨釈書 | ⑥ 梅松論  | ⑦ 太平記 | ⑧ 樵談治要 |
| ⑨ 愚管抄  | ⑩ 梁塵秘抄 | ⑪ 百練抄 | ⑫ 沙石集  |

問7 イの文章のに入れるのに最も適切なものを、【語群】のうちから一つ選びなさい。

問8 イの文章のに入れるのに最も適切なものを、【語群】のうちから一つ選びなさい。

問9 イの文章のに入れるのに最も適切なものを、【語群】のうちから一つ選びなさい。

問10 イの文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 後醍醐天皇                      ② 護良親王                      ③ 九条兼実  
④ 北畠親房                      ⑤ 今川貞世（了俊）

〔Ⅲ〕次のア・イの史料を読んで、それぞれの設問に答えなさい（史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある）。解答番号は  ～

ア

- 一 在方ざいかたのもの身上しんしょう相仕舞あいしまい、江戸人別いりに入候儀じこん、自今けつ以後決して相成らず。
- 一 近年御府内え入り込み、等借請居かりうけおり候者の内ニハ妻子等も之これ無く、一期住いっきみ同様のものも之有るべし。左様の類たぐいハ早々村方え呼戻し申すべき事。

イ

b ひがきかいせんつみ菱垣廻船積問屋共より、是迄年々金一万二百両づつ  上げ金納め致し来たり候所、問屋共不正おもむきの趣も相聞こえ候に付、以来上納に及ばず候。尤、向後右仲間株札ふだは勿論、此外もちろんにも都このほかて問屋仲間すべ并ならびに組合などと唱え候義は相成らず候。右に付いては、是迄右船に積み来たり候諸品は勿論、都て何国より出で候何品にても、 勝手次第たるべく候。且又諸家国産類其外すべ惣て江戸表おもてへ相廻まわし候品にも、問屋に限らず銘々出入でいりの者共等引き受け、売うり捌さばき候義も、是又これまた勝手次第候。

（注）これらの法令は天保の改革の一環として出された。

問1 ア・イの史料の法令を出した最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 田沼意次                      ② 松平定信                      ③ 柳沢吉保  
④ 水野忠邦                      ⑤ 阿部正弘

問2 アの史料の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 見世棚    ② 表店    ③ 町会所    ④ 裏店    ⑤ 蔵屋敷



問6 イの史料の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 運上    ② 地子    ③ 分一    ④ 冥加    ⑤ 高掛物

問7 イの史料の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 幕府専売                      ② 藩専売                      ③ 素人直売買  
④ 仲買売買                      ⑤ 永代売買

問8 イの史料の政策とは対照的に、株仲間を公認・奨励することで商業の発展と財政収入の増加を図った最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 田沼意次                      ② 松平定信                      ③ 柳沢吉保  
④ 水野忠邦                      ⑤ 阿部正弘

問9 イの史料の政策がもたらした結果として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 在郷商人の台頭により江戸の市場は安定した。  
② 幕府の財政は、新たな税収によって好転した。  
③ 菱垣廻船と樽廻船の間の競争が激化し、海運業が活性化した。  
④ 江戸への商品流通がかえって混乱し、物価はさらに騰貴した。  
⑤ 株仲間による取引は継続され、幕府の統制は無力化した。

問10 ア・イの史料が出された時期（1841～1843年）の出来事として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 

|    |
|----|
| 30 |
|----|

- ① アヘン戦争で清がイギリスに敗北した。
- ② 大塩平八郎が武装蜂起した。
- ③ 出版統制が強化され、為永春水らが処罰された。
- ④ 印旛沼の干拓が試みられた。
- ⑤ 歌舞伎（三座）の芝居小屋が浅草のはずれに移転させられた。

〔Ⅳ〕 次のア・イの文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答にあたっては、  
【図表1】 および【図表2】を参考にすること。なお、アの文章中に示されている  
□ a □ および □ c □ は、【図表1】の □ a □ および □ c □ と同一の品目で  
ある。解答番号は、 □ 31 □ ～ □ 40 □

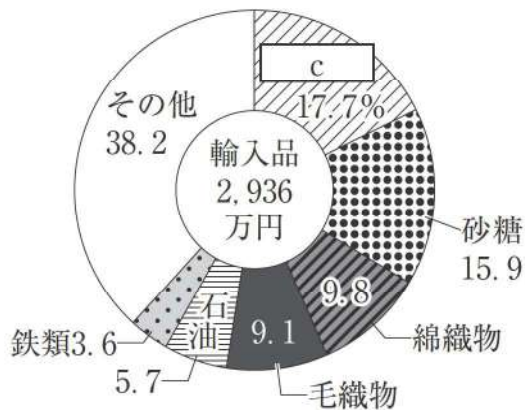
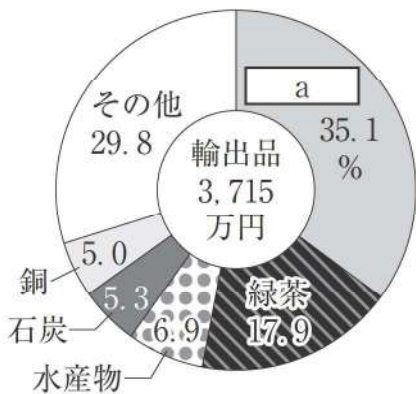
ア 1859年の開港により、日本は本格的に諸外国と貿易をおこなうようになった。国際  
価格と、国内産業の状態を反映する国内価格との差によって輸出入品目が決まり、輸  
出入産業の金額は拡大した。

【図表1】は、1885年・1899年・1913年の日本の輸出入品の総額・品目別構成割合  
を示したものである。いずれも輸出額割合の首位を占めているのは、□ a □である。  
□ a □の生産に関しては、座繰製糸といった伝統的な手法も用いられていたが、殖  
産興業政策を掲げる明治政府は、1872年に□ b □県に官営模範工場を設立し器械製  
糸を開始した。やがて器械製糸による生産量は座繰製糸の生産量を追い抜いていく。

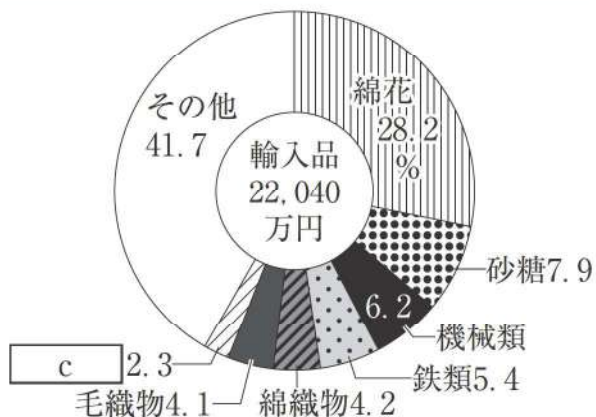
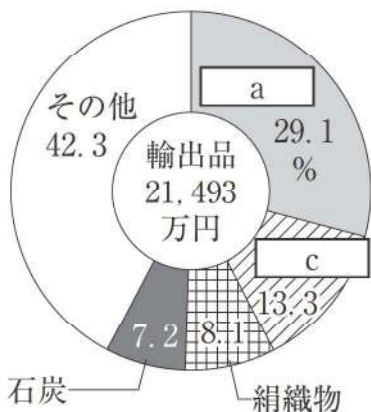
1885年には輸入額割合の首位であった□ c □が1899年には輸出額割合の2位に  
なった。これは、1883年に□ d □らが設立した大阪紡績会社が開業したことを始め  
として、多くの会社が設立されて機械制生産を開始したことによる。

【図表1】日本の輸出入品の総額・品目別構成割合

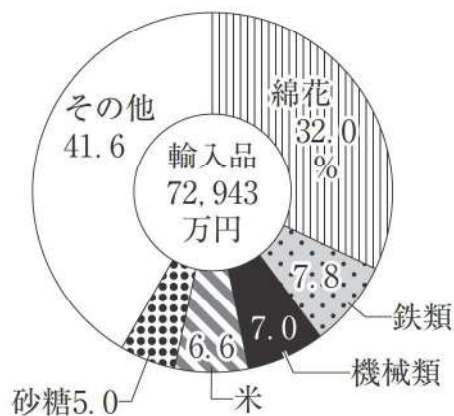
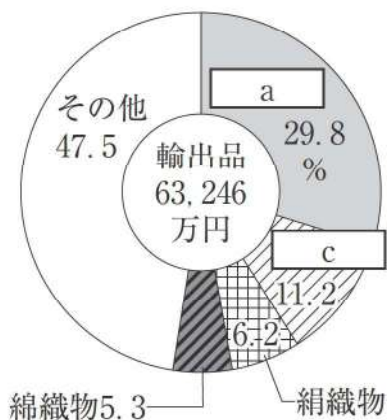
1885年



1899年



1913年



(「山川&二宮ICTライブラリ」をもとに作成)

問1 アの文章と【図表1】の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 人造繊維                      ② 毛糸                      ③ 生糸  
④ 麻糸                          ⑤ 綿糸

問2 アの文章の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 静岡      ② 埼玉      ③ 群馬      ④ 栃木      ⑤ 山梨

問3 アの文章と【図表1】の  に入れるのに最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 人造繊維                      ② 毛糸                      ③ 生糸  
④ 麻糸                          ⑤ 綿糸

問4 アの文章の  に入れるのに最も適切な人物を、次の①～⑤のうちから一人選びなさい。

- ① 福沢諭吉                      ② 豊田佐吉                      ③ 渋沢栄一  
④ 前島密                          ⑤ 岩崎弥太郎

問5 アの文章と【図表1】に関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 35

- ① 1913年の輸入品額割合の品目に米が登場するのは、工場労働者の増加と人口の都市集中および寄生地主のもとでの農業生産の停滞のためである。
- ② 各年ともに砂糖を輸入している。明治期には砂糖の国内需要が高まったため、日本は1895年に領有した台湾における製糖にも力を入れた。
- ③ 1913年と1885年とを比較すると、輸出品額は約17倍、輸入品額は約25倍と両者ともに増大しており、貿易収支は赤字に転じた。
- ④ 綿花が輸入品額割合で1899年から首位に登場しているのは、西日本を襲った災害によって日本で綿花が栽培できなくなったためである。
- ⑤ 石炭が1885年・1899年と輸出品額の一定の割合を占めているのは、官営事業払下げ後に巻上機の導入などの機械化がおこなわれたことにもよる。

イ 【図表 2】 は、明治期から昭和期に至るまでの選挙制度の変遷をまとめたものである。これについて、以下のそれぞれの設問に答えなさい。

【図表 2】 選挙制度の変遷

※地租・所得税など（総務庁統計局監修『日本長期統計総覧』などによる）

| 選挙法の公布         |             | 年<br>総選挙の      | 選挙区制 | 選挙人の資格 |    |           | 人数<br>(万人) | 選挙人          |      |      |      |
|----------------|-------------|----------------|------|--------|----|-----------|------------|--------------|------|------|------|
| 年              | 内閣          |                |      | 年齢     | 性別 | ※直接<br>国税 |            | 選挙人比率（対全人口比） |      |      |      |
|                |             |                |      |        |    |           |            | 2000         | 4000 | 6000 | 8000 |
| 1889<br>(明治22) | 黒田清隆        | 1890<br>(明治23) | 小選挙区 | e      | j  | o         | 45         | 1.1%         |      |      |      |
| 1900<br>(明治33) | 第2次<br>山県有朋 | 1902<br>(明治35) | 大選挙区 | f      | k  | p         | 98         | 2.2          |      |      |      |
| 1919<br>(大正8)  | 原 敬         | 1920<br>(大正9)  | 小選挙区 | g      | l  | q         | 307        | 5.5          |      |      |      |
| 1925<br>(大正14) | 第1次<br>加藤高明 | 1928<br>(昭和3)  | 中選挙区 | h      | m  | r         | 1241       | 19.8         |      |      |      |
| 1945<br>(昭和20) | 幣原喜重郎       | 1946<br>(昭和21) | 大選挙区 | i      | n  | s         | 3688       | 48.7         |      |      |      |

（「山川&二宮ICTライブラリ」をもとに作成）

問 6 【図表 2】 の内閣総理大臣に関する説明として適切ではないものを、次の①～

⑤のうちから一つ選びなさい。 36

- ① 黒田清隆は、政府の政策は政党の意向によって左右されてはならないという超然主義の立場を表明した。
- ② 山県有朋は、政党の影響力が官僚に及ぶのを防ぐために1899年に文官任用令を改正した。
- ③ 原敬は、華族でも藩閥でもなく、衆議院に議席をもつ首相であったため「平民宰相」と呼ばれて国民から歓迎された。
- ④ 加藤高明は、彼の組閣中に生じた関東大震災により1925年まで普通選挙法の成立を延期せざるを得なかった。
- ⑤ 幣原喜重郎は、外務大臣の経験もあり、彼の外交姿勢は正義と平和を基調とする「世界の大勢」に歩調を合わせ、経済重視を特徴とするものであった。

問7 【図表2】の年齢、e～iの組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤

のうちから一つ選びなさい。 37

- ① e—30    f—30    g—30    h—25    i—25
- ② e—30    f—30    g—25    h—25    i—20
- ③ e—30    f—25    g—25    h—25    i—20
- ④ e—25    f—25    g—25    h—25    i—20
- ⑤ e—25    f—25    g—25    h—20    i—20

問8 【図表2】の性別、j～nの組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑤

のうちから一つ選びなさい。 38

- ① j—男    k—男    l—男    m—男    n—男
- ② j—男    k—男    l—男    m—男    n—男・女
- ③ j—男    k—男    l—男    m—男・女    n—男・女
- ④ j—男    k—男    l—男・女    m—男・女    n—男・女
- ⑤ j—男    k—男・女    l—男・女    m—男・女    n—男・女

問9 【図表2】の直接国税の金額は、何円以上か。o～sの組み合わせとして最も

適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。 39

- ① o—15円    p—15円    q—10円    r—10円    s—10円
- ② o—15円    p—15円    q—10円    r—10円    s—3円
- ③ o—15円    p—10円    q—10円    r—3円    s—3円
- ④ o—15円    p—10円    q—3円    r—3円    s—制限なし
- ⑤ o—15円    p—10円    q—3円    r—制限なし    s—制限なし

問10 日本の選挙制度に関する説明として適切ではないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。なお、解答にあたっては【図表2】も参考にすること。

40

- ① 1890年の総選挙においては、選挙人の資格に厳しく制限が設けられていたため、選挙人は全人口の約1.1%であった。
- ② 1915年の総選挙では、青年層を巻き込んで大衆的な選挙戦術をとった立憲同志会が立憲政友会に圧勝した。
- ③ 1920年の総選挙では、立憲政友会は長年主張してきた政策である鉄道の拡充や高等学校の増設などの積極政策を公約として掲げ、小選挙区制の効果も手伝って圧勝した。
- ④ 1925年に加藤高明内閣が普通選挙法を成立させたことによって、有権者の人数は一挙に約2倍に増えた。
- ⑤ 1946年の総選挙においては、選挙人は総人口の半分に満たないが、これは当時の日本人全人口の年齢構成の影響を受けたためである。